

緊急事態宣言発令のため、中止

令和2年度東部地区社会教育関係委員・職員研修会実施計画

- 1 日時・会場 令和3年1月20日(水)
加須市大利根文化・学習センター「アスタホール」
- 2 開会行事
 - (1) 開会の言葉 北埼玉地区社会教育委員協議会副会長
 - (2) 主催者挨拶 埼玉県教育局東部教育事務所長
北埼玉地区社会教育委員協議会長
 - (3) 来賓挨拶 加須市教育委員会教育長 様
 - (4) 来賓・主催者紹介 (全体司会)
- 3 実践発表・パネルディスカッション・指導助言
司会 北埼玉地区社会教育委員協議会幹事
記録 埼玉葛郡市社会教育振興会幹事
 - (1) 実践発表
 - ①加須市 「人々をつなげる社会教育の役割
～生涯学習セミナー市民企画委員制度を中心に～」
加須市教育委員会
 - ②越谷市 「地区からはじまるまちづくり
～学校・家庭・地域の連携について～」
越谷市教育委員会
 - ・・・休憩・・・
 - (2) パネルディスカッション

テーマ 『人々をつなげる社会教育の役割』～withコロナの時代に～
コーディネーター 総合教育センター生涯学習推進担当課長
パネリスト 久喜市 加須市 越谷市
 - (3) 指導助言 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課 社会教育主事
- 4 閉会行事
閉会の言葉 (全体司会)

【実践発表①の概要】

加須市教育委員会生涯学習部生涯学習課

人々をつなげる社会教育の役割～生涯学習セミナー市民企画委員制度を中心に～

1 市民企画委員とは

生涯学習推進事業の多様化、活性化、市民サービスの向上、施設の開放等を目的とした、生涯学習ボランティア（愛称：アシストかぞ）のことである。生涯学習セミナーの企画立案・運営を行うスタッフとして活動する。可能な限り、加須市生涯学習市民講師やクラブ・サークル団体あるいは市商工会事業主等の講師依頼し、今年度の委嘱者は15名、27期目となる。

職員と共通の目標に向かって活動する協力者という立場で、委員の自発性や個性、独創性を尊重した生涯学習セミナーの実現を図ることをねらいとしている。

2 加須市 生涯学習セミナーの理念

- ・豊かな心を育む生涯学習による生きがいづくり
- ・市民ニーズに対応した学習機会の充実
- ・学習成果の活用（講師の活躍、地域社会の発展）
- ・学習機会拡充のための地域社会との連携
- ・新規学習参加者を増やすテーマの設定

3 成果と課題

- 26年間の委員の総数は延べ約500名、セミナーの総数は約800セミナーにも
のぼる。
- 市民企画委員のセミナーに参加することで、市民の生涯学習に対する意識が高揚した。
- 市民企画委員と職員の協働体制が確立し、市民協働によるまちづくりのモデル的活動
となった。
- ◇活動の質を一層高め、知識や技術を習得する学習会や研修会、イベントの企画運営を
行う。
- ◇企画委員や受講者が、習得したノウハウを地域活動に活かし、生涯学習ボランティア
活動を広げていけるような方向付けを行う。
- ◇ICT等の技術を活用した学びの機会（オンライン）の設定、若者等が参加しやすい
内容を工夫する。

4 埼玉県教育局生涯学習推進課及び東部教育事務所から

市民が受講者として学び、指導者として活躍し、市民企画委員としてセミナーの企画運営に携わることで、「学びと活動の好循環」を生み出す、すばらしい事例をお示しいただきました。今後、セミナーの事業内容を、SDGsと関連付けて整理し市民の参加を促したり、学校教育と連携し指導者を発掘したりすることで、セミナーの魅力が一層向上すると考えられます。さらに、アウトカム（市民や地域社会に与えた成果・効果）を緻密に検証することで、市民企画委員制度の質を高め、加須市の魅力ある取組として市内外に発信していくこともできると思います。

【実践発表②の概要】

越谷市教育委員会生涯学習課

人と人がつながる豊かな地域社会～学校・家庭・地域の連携について～

1 コミュニティ推進協議会とは

越谷市13地区それぞれに掲げられた「地区別将来像」の実現のために、創意溢れる工夫した事業を展開し、「地区からのまちづくり」に取り組む協議会のことである。

コミュニティ推進協議会構成団体は、自治会、子ども会、PTAなどの地域活動団体とコミュニティづくりに関心のある市民で構成され、主な活動内容は、フェスティバルや花いっぱい運動、健康ウォーキング、防災訓練など多岐にわたっている。

2 桜井地区コミュニティ推進協議会の取組

☆夏休みふるさと体験教室

小学生が、地域の伝統や自然、自己と社会との関わりについて学び、生きる力を養うことを目的とする。虫追い行事、おこもり体験、カレー作り体験、キャンプファイヤー、地区センターでの宿泊体験を行う。

3 川柳地区公民館事業の取組

☆太鼓たたき講習会

小学生が、地区の夏祭りや文化祭での演奏を目標に和太鼓を練習し、成果を披露することで多く地区住民との交流を図り、健やかな心身を育むことを目的とする。参加者の募集は学校を通じて行い、講師は地区在住の方に務めていただいている。

4 成果と課題

○地域の伝統行事について楽しく学びながら、子供同士の絆づくり、地域の大人との交流が展開できた。また、協調性や自主性を育成できた。

○子供たちが生き生きと活動することで、地域の行事が盛り上がり、地域の魅力向上に繋がった。

○子供の活動をきっかけに、地域住民同士の交流や世代間交流が図れ、関係団体や関係施設との連携が図れた。

◇事業の継続的な実施に向けて、新たな担い手の発掘や人材育成が課題である。

5 埼玉県教育局生涯学習推進課及び東部教育事務所から

子供たちの学びのために、様々な世代の方々が連携・協力することにより、共生社会の実現につなげようとする、すばらしい事例をお示しいただきました。また、地区センターでの宿泊体験の実施は、子供たちへ豊かな体験を提供するだけでなく、自然災害発生時対応のシミュレーションとしての意義もあり、住民同士の共助の意識が高まるものと思います。今後、コロナ禍における事業運営について持続可能な形を検討したり、様々な魅力ある事業の実施状況を広く周知したりすることで、市民の参画意欲をさらに高めることが重要だと思います。